

令和6年度

毛呂山町立泉野小学校 学校経営方針

基本理念

学び合い、高め合い、認め合い、支え合う 笑顔あふれる学校

将来の変化を予測することが困難な時代を前に、よりよい社会をつくっていくことができる児童を育成することが学校の使命である。すべての教育活動で、一人一人が役割を持ち、自らの力を發揮し、認め合う環境を整えることで、児童の居場所を確保し、自己肯定感を高めるとともに、課題解決に向け他者と協働しようとする力を育成していく。また、不登校や発達に特性のある児童に対して、特性への理解を深め、個に応じた指導を行っていくことで、基礎的基本的な学力、自己と他者を大切にする心を身につけ、全ての児童が夢の実現に向けてはばたけるようにしていきたい。そのために基本理念「学び合い、高め合い、認め合い、支え合う、笑顔あふれる学校」づくりを目指し、

① 学び合いを通して切磋琢磨し、お互いの力を高め合う教育活動の重視

② お互いを尊重し、困ったときには支え合う環境づくり

を経営方針とし、全職員一丸となって児童一人一人に確かな力を育成していく。

1 本校の実態

(1) 学校規模

児童数 男子115名 女子108名 計223名

学級数 通常学級8学級 特別支援学級（知）1学級 （情）1学級

教職員数 県費負担教職員 定数13（校長、教頭、教諭）

加配2 長期研修代替1、養教1、事務1、事務加配1

非常勤2 計21名

町費負担教職員 常勤7 非常勤3

(2) 地域の実態

- 開校45年目を迎える町内で一番新しい学校である。古くから残る地区と混合住宅が混在する学区で、PTAや地域住民は学校に対して大変理解がある。
- 毛呂山町の北西に位置し、庁舎のある町の中心部に近い。近隣の埼玉医科大学病院や私立高等学校と深く交流している。
- ・

(3) 児童の実態

- 明るく素直な児童が多く、大人に信頼を寄せており、友達とも良好な人間関係を築くことができる。
- 学習に真面目に取り組み、こつこつと努力することができる。

2 学校教育目標

「かしこく なかよく たくましく」

3 めざす児童像

(1) 自分の考えを持ち、最後までがんばる子

基礎的基本的な学力は、児童が未来を切り開いていくために必要となる。毎時間の授業と授業以外の教育活動により、基礎基本を確実に定着させる。

授業については、「わからないからわかりたい」「解決したい、友達と話したい」と思わせる主体的・対話的で深い学びを実現する授業展開により、自分の考えを持ち、伝えることができる児童を育てる。

(2) 友達を大切にし、協力するよさを知って、心豊かに生活する子

将来社会の一員として、自分も他者も大切にする子を育成しなければならない。思いやりや優しさを持って他者と関わる心地よさを知り、協力することで喜びを得られることを感じる心豊かな子を育てる。また、社会で互いが気持ちよく生活し、自らの生活を豊かにするために、基本的なモラルがある子を育成する。

4 めざす教師像

(1) 使命感を持ち、学び続ける教師

日本の将来を担う人材を育てるという責任を感じ、全うしようとする教師集団を育成する。児童に未来を拓く力を育てるために授業力向上に重きを置き、自己研鑽を続ける教師でありたい。授業においては、「毛呂山町 授業の心得」の完全実施を基本とし、児童の「わかりたい」意欲を喚起する授業を目指し続ける。

(2) 明るく健康的で、信頼される教師

児童、保護者、同僚との良好な人間関係を築き、社会人の一員としての自覚を持ち、気持ちの良い職場環境を作る教師集団を育成する。

5 学校経営方針

(1) 学び合いを通して切磋琢磨し、お互いの力を高め合う教育活動の重視

(2) お互いを尊重し、困ったときには支え合う環境づくり

【学校経営の柱】

(1) 教職員としての誇りを持ち、学び合い・高め合う学校

・学校課題研究の推進

・学力向上 「毛呂山町 授業の心得」を基にした学習活動の展開

*落ち着いた学習環境を整えるための学習規律の徹底

*子どもが見通しを持って主体的に学習できるための学習過程の共有

生活経験、既習事項をもとに予想を立てる→解決の方法を考える→解決する（個→ペア・グループ）→全体で比較・検討する→まとめと振り返り

*子どもが考えるための時間の確保。

- ・課題解決学習を通じた学び合い学習の推進（自力解決とグループでの話し合い）

*課題解決のために必要な視点・話し合いの目的を明確にする

目標値：県学力学習状況調査での学力の伸び率2

学校評価 保護者アンケート1-4 A+B 90%以上

(2) 豊かな心を持ち、認め合い・支え合う学校

- ・道徳教育・人権教育・体験活動の充実

*人権教育プログラムの有効活用・体験活動の充実を図る

*思ったこと、考えたことを行動に移せる児童の育成。まずは教師から

- ・学級活動の充実 ひとりひとりが役割を發揮し互いに認め合える環境づくり

*互いを認め、励まし合い、支え合うことができる環境づくり（係・当番・学級会・行事・縦割り活動の充実）。そのために、教師の見届けと評価をしっかりとおこなう。

目標値：学校評価 保護者アンケート1-5 A+B 90%以上

(3) 保護者・地域から信頼される学校

- ・保護者連絡（小さなこと・成長したこと・がんばったこと）

- ・何かが起きたときの初期対応（共通理解の基でスピード感を持って丁寧に）

*見届けまでしっかりと行う。

- ・職員間の情報共有（報告・連絡・相談の徹底）。困ったときは一人で抱え込まない。

*迷ったときは、まず報告・相談。

*ケース会議の充実を図り、組織で対応する。

- ・見守り活動・学習ボランティアに対する感謝の姿勢を大切にする。

- ・安全点検の確実な実施 危険箇所を発見したら、まずは自分で直せるか試してみる

目標値：学校評価 保護者アンケート1-2、1-8、1-10 A+B 90%以上

1-3 A+B 80%以上

(4) 外部機関との積極的な連携（教育センター・子ども課・福祉課）

- ・特別支援教育の充実（特性の理解を深める。あせらない）

- ・教育相談の充実

目標値：新規不登校児童0

(5) 働き方改革の推進（優先順位は①自分の健康②家族③児童）

- ・教職員間の協力体制の構築 休みやすい職場・お互いにカバー・お互い様の気持ち

- ・優先順位を決め、計画的に仕事を進める（仕事に見通しを持ち、余裕がある計画を立てる）

- ・やるときとやらないときの仕事のメリハリをつける

*忙しい時期でも、時間外勤務60時間以内になるようにする。

目標値：7月・8月・12月・1月の時間外勤務45時間以上の職員0

6 本年度の重点課題

(1) 小中一貫教育の推進

- ・教職員の研修と交流
- ・児童生徒の交流
- ・9年間を見通した教育課程の編成

(2) コミュニティースクールの推進

- ・地域人材の活用（授業、学校行事、防犯等）
- ・地域の声を生かした学校経営の推進

(3) 確かな学力の向上

- ・学ぶ意欲を喚起する課題設定、自力解決、学び合い、学習のまとめ、振り返りの流れで行う授業と教職員研修の充実（「毛呂山町 授業の心得」の全授業実施）
- ・わからなかることがわかるようになる楽しさ、友達と学ぶ楽しさを感じさせる授業の展開
- ・自分の課題に合った学習や家庭学習の充実（やる気アップデー等）による基礎基本の定着
- ・各種学力調査の分析による課題点の見極めと個々の伸びの確認、課題解決を図る教育活動の展開
- ・正しく美しい言葉を使って、自分の考えを伝えさせる言語活動の充実

(4) 豊かな心の育成

- ・自ら時刻やきまりを守る、適切な言葉遣いをする、整理整頓をする、気持ちのよいあいさつや返事をすることを大切にする教育
- ・すべての子どもにとって居心地のよい教室経営で子どもの意欲を引き出す教育
- ・差別や偏見の心をなくし、いじめを絶対に許さない教師と子どもによる、温かい学級風土づくりと道徳教育の充実
- ・ネット社会の危険性を知り、自他を傷つけない倫理観を育成する教育

(5) 健やかな体の育成

- ・体力の課題解決を図り、体を動かす喜びを知る体育授業、体育的教育活動の展開
- ・けがや病気の予防について自ら考え行動する児童の育成

(6) 安全安心美しい環境づくり

- ・我が校を大切にして生活し、真心こめて清掃する児童の育成（無言清掃）
- ・適切な施設管理の実施と授業の中での安全点検
- ・学習に集中できるすっきりとした教室環境づくり
- ・食育、給食指導の充実とアレルギー対応

(7) 家庭・地域との協同

- ・家庭との密な情報共有と顔を合わせた会話の重視
- ・児童に夢を持たせるキャリア教育の充実
- ・地域の声を生かした学校教育の充実